

「公的ケアからの養子縁組」出版記念 国際講演

欧米における

こどもの福祉のための養子縁組

参加無料 / 同時通訳あり / ウェビナー開催

日時：2025年5月12日(月) 19:00-21:00

方法：オンライン ※Zoom アプリケーションを最新版に更新することを推奨します。

対象：養子縁組やこども家庭福祉にご関心のあるすべての方々
(支援機関や自治体、当事者団体、研究者、学生など)

※「公的ケアからの養子縁組」を読んでいなくても参加可能です。ご関心のある方はぜひご登録ください。

ご購入の場合はこちらから。(https://www.akashi-co.jp/book/b655551.html)

主催：早稲田大学社会的養育研究所 / 協力：家庭養育支援機構、HITOTOWA / 書籍出版：明石書店 / 助成：日本財団



タイムスケジュール

司会：徳永祥子（早稲田大学・立命館大学 研究員）

19:00-19:05 【はじめに】挨拶・趣旨説明

西郷民紗（早稲田大学人間総合研究センター次席研究員、監訳者）

19:05-19:30 【講演 1】『本書の概要と主要テーマ』

マリット・スキヴェネス教授

（ノルウェー、ベルゲン大学教授・裁量権バタナリズム研究センター所長）

19:30-19:45 【講演 2】『米国と英国における公的ケアからの養子縁組』

ジュン・ソバーン教授（イギリス、イースト・アングリア大学名誉教授）

19:45-20:00 【講演 3】

『ヨーロッパにおけるケアからの養子縁組の位置づけ』

タルヤ・ポソ教授（フィンランド、タンペレ大学名誉教授）

20:00-20:05 【説明や確認】

20:05-20:20 【指定質問】

藤林武史（西日本こども研修センターあかしセンター長、

早稲田大学社会的養育研究所招聘研究員）

20:20-20:55 【質疑応答・ディスカッション】

20:55-21:00 【終わりに】

上鹿渡和宏（早稲田大学人間科学学術院教授、社会的養育研究所所長）

登壇者略歴



マリット・スキヴェネス氏

ノルウェー、ベルゲン大学教授・裁量権バタナリズム研究センター所長。児童の権利、児童保護システム、福祉国家に関する複数の国際研究プロジェクトの主任研究員で、欧州研究会議（ERC）からも助成を受ける。Oxford 大学出版『Global typology of child protection systems』の編集者でもある。最近では政府の児童保護法委員会を主導し報告書を作成した。



ジュン・ソバーン氏

英国ノーリッチのイーストアングリア大学名誉教授（ソーシャルワーク）、大英帝国勲章第三位。イギリスとカナダでソーシャルワーカーとして勤務した後、子ども家庭ソーシャルワークのあらゆる側面について研究を行う。特に、子ども福祉のサービス提供のあり方に興味を持ち、日本にもこれまで数回訪問。初期の著作2冊は日本語でも出版されている。



タルヤ・ポソ氏

フィンランドのタンペレ大学名誉教授（ソーシャルワーク）。『ケアからの養子縁組』の編集者の一人で、ソーシャルワーク、特に児童福祉の研究における豊富な経験を有している。

お申し込みは
こちら

右の二次元コードまたは下記 URL から参加申込みフォームに必要事項を入力の上、事前登録をお願いします。
(Zoomでのオンライン実施、参加無料、日英同時通訳あり。)
<https://forms.gle/VUPKIq7vibEm5qsK7>



WASEDA University
早稲田大学

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION